

行事概要

目的

- 「認知症になっても認知症の人と家族が地域で安心して暮らせるまちづくり」に向けた具体的な取組みが始まっていることを、一般都民に実感してもらう。
- 認知症生活支援モデル事業の成果について仕組み部会委員が中心となって総括的に検証し、併せて21年度以降補助事業として直接の担い手となる区市町村担当者に事業成果を発表することにより、事業の参考資料として提供する。

日時

平成21年5月29日（金曜日） 14時から17時まで

会場

東京都庁第一本庁舎 5階大会議場

内容

第1部 実践報告会

モデル事業の実施団体（2区市および5事業者）からの事業報告

認知症地域資源ネットワークモデル区市からの報告

モデル地区における、推進体制の組み方や事業の経過及び成果を、映像資料も活用して報告。（各25分）

- ・練馬区 福祉部参事（在宅支援課長事務取扱） 紙崎 修 氏
- ・多摩市 健康福祉部高齢者支援課長 二宮 勇 氏

認知症支援拠点モデル事業者からの報告

モデル事業者が、取り組んだ事業のうち特色のある事業を1つ選択し、実施にあたって苦労した点や工夫した点を交えて成果報告。（各10分）

- ・グループホームかたらい：「あんしん生活マップとしんせつシール」
- ・グループホームなごみ方南：「手作りプランターによる地域交流」
- ・至誠キートスホーム：「認知症支援ボランティア養成講座」
- ・地域ケアサポート館福わ家：「認知症緊急時対応サービス」
- ・グループホームきずな：「認知症高齢者の実験的就労デイ」

第2部 パネルディスカッション

モデル区市・モデル事業者及び学識経験者によるディスカッションと質疑応答（60分）

コーディネーター

- ・下垣 光 氏（日本社会事業大学社会福祉学部准教授）

パネリスト

- ・永田 久美子 氏（認知症介護研究・研修東京センター研究部副部长）
- ・紙崎 修 氏（練馬区福祉部参事（在宅支援課長事務取扱））
- ・二宮 勇 氏（多摩市健康福祉部高齢者支援課長）
- ・市川 裕太 氏（グループホームかたらい 副ホーム長）
- ・本村 雄一 氏（グループホームきずな 所長）

配布物

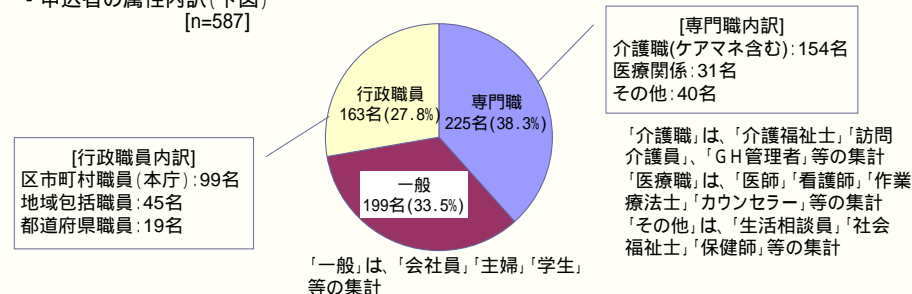
- 「地域でできる！認知症の人を支えるまちづくり」資料（A4版・73頁）
- 都の施策紹介、モデル区市・事業者の事業報告書等を掲載
- アンケート（集計結果（抜粋）は右記）
- 東京都の認知症ポータルサイト「とうきょう認知症ナビ」案内チラシ

実施結果

参加状況

➤ 申込者数 587名

- 申込受付期間：4月20日から5月22日まで
- 申込者の属性内訳（下図）
[n=587]



➤ 参加者数 461名（参加率78.5%）

アンケート結果（抜粋）

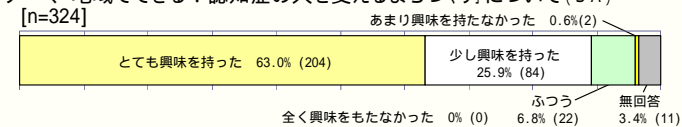
➤ 回収数 324票（回収率70.3%）

➤ 集計結果

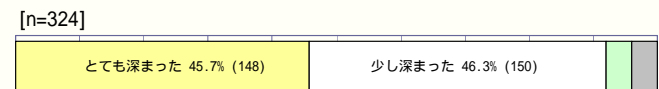
Q. シンポジウムに参加しようと思った理由は何ですか（MA）[n=324]

- 身内や近所等、知り合いに認知症の人がいるから 14.8% (47)
- 認知症にかかわりのある仕事・ボランティアをしている（してみたい）から 63.8% (207)
- 認知症の人を支えるまちづくりの取り組み状況に関心があったから 59.7% (190)
- 出演者の話を聞きたいと思ったから 16.7% (53)
- その他 6.3% (20)
- 無回答 1.9% (6)

Q. テーマ「地域でできる！認知症の人を支えるまちづくり」について（SA）
[n=324]



Q. シンポジウム参加後、認知症の人を支えるまちづくりに対する理解や関心は深まりましたか。（SA）



➤ 自由回答（抜粋）

モデル事業の実践報告についての意見

まちづくりのモデル事業、大変多くのヒントを得ました。今日の資料を参考に、私の参加組織でも課題提起していきたい。

地域の有り方についての意見

- ・超高齢社会の到来を考えたとき、国、地方でできることは限られている。個人や地域でできることをもっと考えていかななくてはならないと感じた。
- ・「地域力」をアセスメントし、つよめながら認知症になっても生活し続けられる街づくりには、大いに賛成。自分なりにやれることをやってみたい。
- ・街づくりにおいて、いつも医療の視点が抜けていると感じる。医療との連携・役割分担により、さらに推進されるよう期待している。

行政に対する要望・意見

- ・介護保険事業所や委託型の地域包括が、まちづくりを行おうとしても、費用や保障に関する課題があり、自治体の協力や助成がないと活動することは困難と感じる。
- ・今後は本事業のような、介護保険外サービスの重要性が高まると想定される。介護保険の枠外において、行政のイニシアチブをどう発揮するかが重要。
- ・行政が主体になって活動している点の重要性を感じる。多くの行政がこのような取組みに強い気持ちで対応してくれることを期待したい。